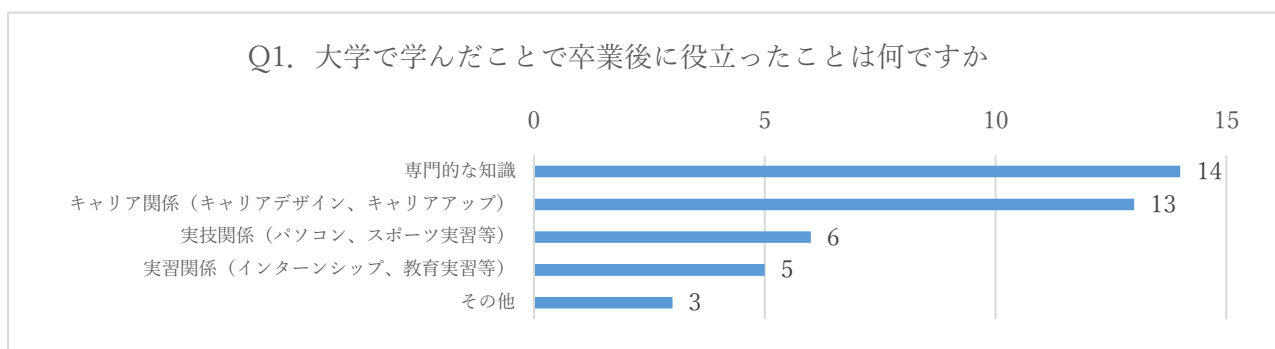


卒業後の状況に関するアンケート集計について

令和3年度同窓会定期総会の参加確認ハガキにてアンケートを実施。

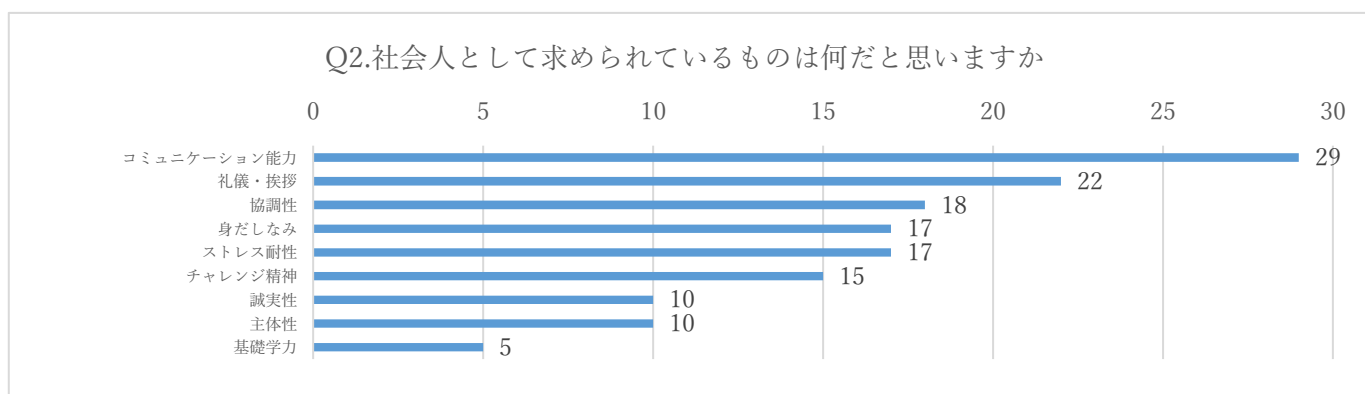
- ・卒業生数 7,071名
- ・発送数 5,628通
- ・発送日 2021年7月1日
- ・べ切日 2021年8月23日
- ・対象者数 577名（26期生、28期生、30期生）
- ・返信総数 全体282通
- ・対象者回答総数 55通 ※回答率 9.5%
- ・有効回答数 36通（アンケート未回答を除いた） ※有効回答率 6.2%



『専門的な知識』の回答が多く、実社会で業務を遂行していく上で、本学での学びが役立ったと感じていると考えられる。

キャリア関係についての回答も多く、本学での学びの中で自身の将来についての検討を有意義に行えたと考えられるが、インターンシップについては回答数が少ない。卒業後5年未満の卒業生を対象としているため、実社会での業務経験とインターンシップでの学びや経験が、まだリンクしていないことが原因と思われる。

PCなどの実技関係が役立ったと感じている卒業生は多くない。情報化社会の中で育ってきたことから、大学時代の情報スキルが特別役立ったと実感できていないことが一因と考えられる。



実社会において業務を遂行していく中で、自分自身への振り返り、同僚の動向などを鑑みた結果が数値に反映していることが伺える。有効回答数36の内、80%を超える卒業生が『コミュニケーション能力』が求められていると回答しており、社会人として業務を遂行するにあたり実感したものと考えられる。

また、『礼儀・挨拶』『協調性』『身だしなみ』の項目が上位を占め、いずれの回答も『コミュニケシヨ

ン能力』を選択した上での、第二候補的な回答である。社会人に求められているものの根幹には、『コミュニケーション能力』があると考え、今後、学生の就活支援をしていく上で『コミュニケーション能力』の向上は必要不可欠である。

実社会において業務を遂行していく中で、自分自身への振り返り、同僚の動向などを鑑みた結果が数値に反映していることが伺える。

有効回答数 36 の内、80%を超える卒業生が『コミュニケーション能力』が求められていると回答しており、社会人として業務を遂行するにあたり実感したものと考えられる。

また、『礼儀・挨拶』『協調性』『身だしなみ』の項目が上位を占め、いずれの回答も『コミュニケーション能力』を選択した上での、第二候補的な回答である。社会人に求められているものの根幹には、『コミュニケーション能力』があると考え、今後、学生の就活支援をしていく上で『コミュニケーション能力』の向上は必要不可欠である。